

人形劇を熱演

チビッ子大会開かれる

チビッ子大会が、3月21日午後12時30分から向日市民会館ホールで開かれました。大会は、約600人のチビッ子たちが集まって、各地区の人形劇を演じました。この日出演したのは九地区のこども会と賛助として劇団京芸のお兄さんたちでした。こどもたちが自分で制作した、人形や小道具を、京芸のお兄さんお姉さんたちに手助けをしてもらいながら、熱演していました。このチビッ子の人形劇大会は、こどもらが作り、演じた喜びを、もたそうと、昨年につづいて、第二回目の大会でした。客席に集まったこどもたちも楽しい午後を過ごしました。



(熱演するチビッ子)

第2回春期全京都市少年野球大会

少年団Bチームが初優勝 市役所に来庁

第2回春期全京都市少年野球大会で、市のスポーツ少年団の学童の部Bチームが、輝く初優勝をとり4月2日午後全員そろって、中山市長に優勝報告のため、来庁しました。野球大会には、64チーム(学童の部32・中学生の部32)が参加、市の少年団は3チーム参加しましたが、2チームは惜しくも敗れ、残るBチームが熱戦のすえ、対戦相手桃園リトルホークスを8:4で退け、学童の部で初優勝をとげました。優勝旗を先頭に、楯、表彰状などを持って報告にきた少年団Bチームらは、中山市長から、「優勝おめでとう、これからがんばってください」とねぎらいのことばをかけられると、「夏の大会にも優勝したい」とチーム全員は早くも新たな闘志をもちました。



(来庁した少年団Bチーム)

カメラ スポット



(展覧会のもよう)

力作が勢ぞろい 美術展覧会を開催

中央公民館主催の美術展覧会が、四月六日(十日の期間)向日市民会館第一会議室で催されまし
出品したのは、高田尚一(モタ 藤後彦 伊藤順章(青年) (二)野念 高木幹郎 (フリー)の 石川啓 七氏らで、三、 四原つとむ計約千五点 (独立)の力作が陳列されました。 美術協 陳列では、曲絵(抽象画・風景 色)・画・グラフィックデザインなど (示現)が陳列され、市民の目を豊かにさ (示現)せ、好評でした。 桑山龍 美術に限って展覧会を開かれた (主)のは、初めての試みで、これから 中央公民館ではいつか、

市民の発表の場に期待 公民館ギャラリーを開設

市民の発表の場に期待 公民館ギャラリーを開設
公民館で、その第一回目として、三月下旬に、中央公民館から賛助出品で、上田麗氏(示現)の作品を陳列しました。このギャラリーは、市民の作品の発表の場に大いに利用してほしいといっています。市民のみなさんで、会場がなく、ぜひ陳列したいものがあるといわれ、市民ら、そして中央公民館までお申込みまた、お問い合わせください。



(期待を集めるギャラリー)

社会福祉に努力 人間の心を忘れずに



(小島真紀子さん)

最近、ひとり暮らしのお年寄りや、死後何日も発見されなかったり、栄養失調で死ぬ事例、やっとなんかあったという事件が続いていきます。隣りとして住んでいながら、顔も見たことがない人々も、二人の人間には父と母の二人の親がいる。その親にも二人ずつ親がいるというように、さかのかほっていきくと、一代前は八、五代で三十二人、十代前では百八人、千三万人といふことになる。現在の日本の人口が一億とする、日本人である以上、全部の人びとがごごかた血がつながっているといふことになる。しかし、わたくしたちは、「他人に『困』(あか)までつづけている」といふお話を、ある先生から聞いたことがありました。人間みな兄弟といふことなのです。

わたしの意見

信念のある社会人に まやかしのない自分を



(近藤達正さん)

「二十代になって、ふといままでの自分という人間を回顧してみたい場合、また学生だ、未青年だといふことも伴って、あらゆる面でも甘い考えが出て、何事においても徹底した気持ちになれなかった」

今月号でのこの欄は若者の主張を取り上げてみました。ことし一月におとなへの仲間入りをした二人ですが、二人の抱負をみんんで暖かく応援しましょう。

つまずき、自分の信をいっただけのはなく、中途半端な面がそこかあった気がする。そして、いづれどこかで、自分をまやかすようなことを、いかにすれば、安易な安心感がこころからなくなり、出て、中途半端な繰り返して、しかかなかのあつな気がする。いわば、サーキットの中を行ったり来たり、ぐるぐるのまわりのような形で、生活していかなくてはならない。

わたしの意見欄の投稿を歓迎します。市民のみなさんの建設的な意見をどしどし投稿してください。

広報係

“なれた火に 新たな 注意を”

日ごろの生活上で、火を使うことはよくあります。そして火になれ、注意を怠りがちになってきます。そのすき間に火魔が忍び寄り、大火を呼び起こします。火になれていても、火の元にはつねに注意し、わが家からは火災を起こさないように、火の元の点検を忘れずにおきましょう。煙はあなたより早い……火事になったらまず逃げることを